

長年の環境・エネルギー教育をベースに、 学校内外でキメの細かい省エネ活動を実践。

神奈川県 秦野市立南が丘中学校

特徴

- 日常的な環境、エネルギー教育が長年行われてきており、学校内の省エネ活動は徹底している。
- この冬は特に、「待機電力」「体育館での水銀灯の使用」「暖房効率アップ」「照明」などの省エネに力を入れた。
- 教室の照明スイッチに表示を徹底するなど、細かいところに着目している。

エネルギー環境教育実践校の 経験を活かした省エネ活動。

南が丘中学校では、平成16年度から3年間、エネルギー環境教育実践校として、エネルギーや環境問題の理解、普及に取り組んできました。この取り組みをベースに今回は、普段なかなか気づかない「ストーブの待機電力」「パソコンの待機電力」「印刷機の待機電力」に着目して省エネ活動を実践しました。

無駄をなくして電力をカット。 電気使用量を11%削減。

教室のストーブのコンセントは背面にあったため、これまではプラグを抜くことができませんでした。ストーブの待機電力は5W。これによって電気代が1台あたり年900円、20台あるので年に18,000円もコストがかかっていたそうです。この電気代を節約するため、ストーブのプラグに延長コードを取り付けて、使わない時はコンセントを抜けるようにしました。また、この冬から省エネナビを活用し



パソコンを活用した環境教育の授業風景



南が丘中学校

て、電気を有効に使う取り組みも始めました。土日や冬休みには、コンピューターのサーバーを落とし、パソコンとプリンターのプレーカーも落としてしているそうです。その他にも、印刷機やビデオ、テレビなども、使用しない時にはプラグを抜くように心がけています。これらの取り組みは、注意書の掲示などの活用によって着実に効果が上がってきています。

体育館には、エネルギー効率の良い水銀灯を設置。しかし、今までは水銀灯と白熱電球の両方を合わせて点灯していたそうです。ある教員から「白熱電球は水銀灯がつくまでの補助的なもの」という指摘を受け、水銀灯だけを点灯するようにしました。また、体育館は一般にも開放されることがあるので、点灯スイッチのそばにポスターを貼って協力を呼びかけました。

これまでは授業中だけでなく、昼休みや放課後でも教室

の照明は全てつけていたそうです。校内全ての照明を点灯させると、消費電力は全校で800Wにもなります。必要のない照明までつけてしまうのはなぜなのかと考えたところ、スイッチになんの表示もないからだ気づきました。そこで教室の照明スイッチに、どれが黒板のスイッチが分かるよう表示して、活動内容によっては照明を消すことにしたそうです。

これらの活動の結果、平成19年度の電気使用量は7,860kwhとなり、平成18年度の8,842kwhと比べると982kwhの電力が削減されました。

ストーブと扇風機を同時稼働し、暖房効果をアップ。

教室のストーブの温度は15℃に設定しました。ストーブの温度センサーは床付近にあるので、設定温度と教室の実際の温度は違います。設定温度が15℃でも、実際には20℃ぐらいに保たれていることが分かったからです。またストーブをつけて数分後、扇風機も併せて回しているので、天井付近から暖かい空気が降りてきて、暖房効果を高めています。

家族で省エネ大作戦！ 取り組みは「省エネ教室」で発表。

冬休みの間は、生徒は「家族で省エネ大作戦」に取り組んだそうです。その成果は、1月に行われた「省エネ教室」で報告されました。各々が冬休みの活動を発表したり、個人の反省をもとに各班で話し合ったりして、多くの生徒が省エネについて深く考える時間になったようです。

また、「省エネ教室」ではワンガリ・マータイさんの「モットイナイ運動」についても紹介しました。物を大切に使い、無駄なごみを出さないことも省エネにつながると伝えました。今後は、エネルギーを節約するだけでなく、この「モットイナイ」の視点から省エネ活動を実践していくそうです。



「省エネ教室」でエネルギー問題について学習

<生徒たちの感想>

- ・2週間の短い間、省エネを心がけただけで、お金もエネルギーも節約できて良かった。
- ・毎日、必要な時だけ暖房をつけたり、人のいない部屋は消灯したり省エネを心がけた。
- ・今まであまり気にしていなかった、テレビをつけっぱなしにしないなど、小さなことを見直して良かった。
- ・暖房機器の温度を1℃下げるだけで省エネになることが分かった。
- ・リサイクルして資源を無駄にしないことも大切なんだと思った。
- ・以前の日本はモットイナイが当たり前だったのに、今はあまりそうではない。一度考え直すべきだと思った。

<家族の感想>

- ・14日間で1,503円もの節約はすごいと思った。家族一人ひとりがかつと関心をもって取り組めば、まだまだ省エネができるはず。14日間の「作戦」ではなく、これからもずっと続けていきたい。
- ・毎日少しずつの積み重ねが地球温暖化防止にも、節約にもつながる。いつまでも美しい地球でいられるよう、これからも自分たちにできることを続けていきたい。



校内での資源ゴミ回収活動の様子

【エネルギー削減率】 2.5%

■プロフィール

所在地：神奈川県秦野市
参加生徒数(学年)：107人(1年生)
省エネ活動について：以前から実践
省エネナビ：設置